

平成27年5月28日(木)  
四国地方整備局 那賀川河川事務所

## よりの確な水防情報の提供に向けて

～「防災対応等の目安となる水位の見直し」について～

国土交通省では洪水時に迅速且つ的確に防災対応等を行う観点より近年の洪水や堤防整備を踏まえて那賀川及び派川那賀川・桑野川(国管理区間)における防災対応等の目安となる水位を見直しましたのでお知らせいたします。

那賀川(国管理区間)については上流\*のはん濫危険水位\*(洪水により相当の家屋浸水等の被害を生ずるはん濫の起こる恐れがある水位)と避難判断水位\*(住民に対しはん濫発生危険性について注意喚起を開始する水位)を見直しました。

また、那賀川(国管理区間)の下流\*については変更していません。

派川那賀川・桑野川(国管理区間)については無堤部\*(堤防が整備されていない地区のことで、洪水時の河川水位と比べて地盤高が低く河川の水があふれてはん濫が生じる地区)の避難判断水位\*を追加し、有堤部\*(堤防が設備されている地区)の避難判断水位\*を見直しました。

注) 詳細は別紙-1～3参照

「\*」印は別紙-4の用語説明を参照

<問い合わせ先>◎主な問い合わせ

◆国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

電話 (0884) 22-6461 (代表)

FAX (0884) 22-7062

副所長

いちはら みちひろ  
市原 道弘

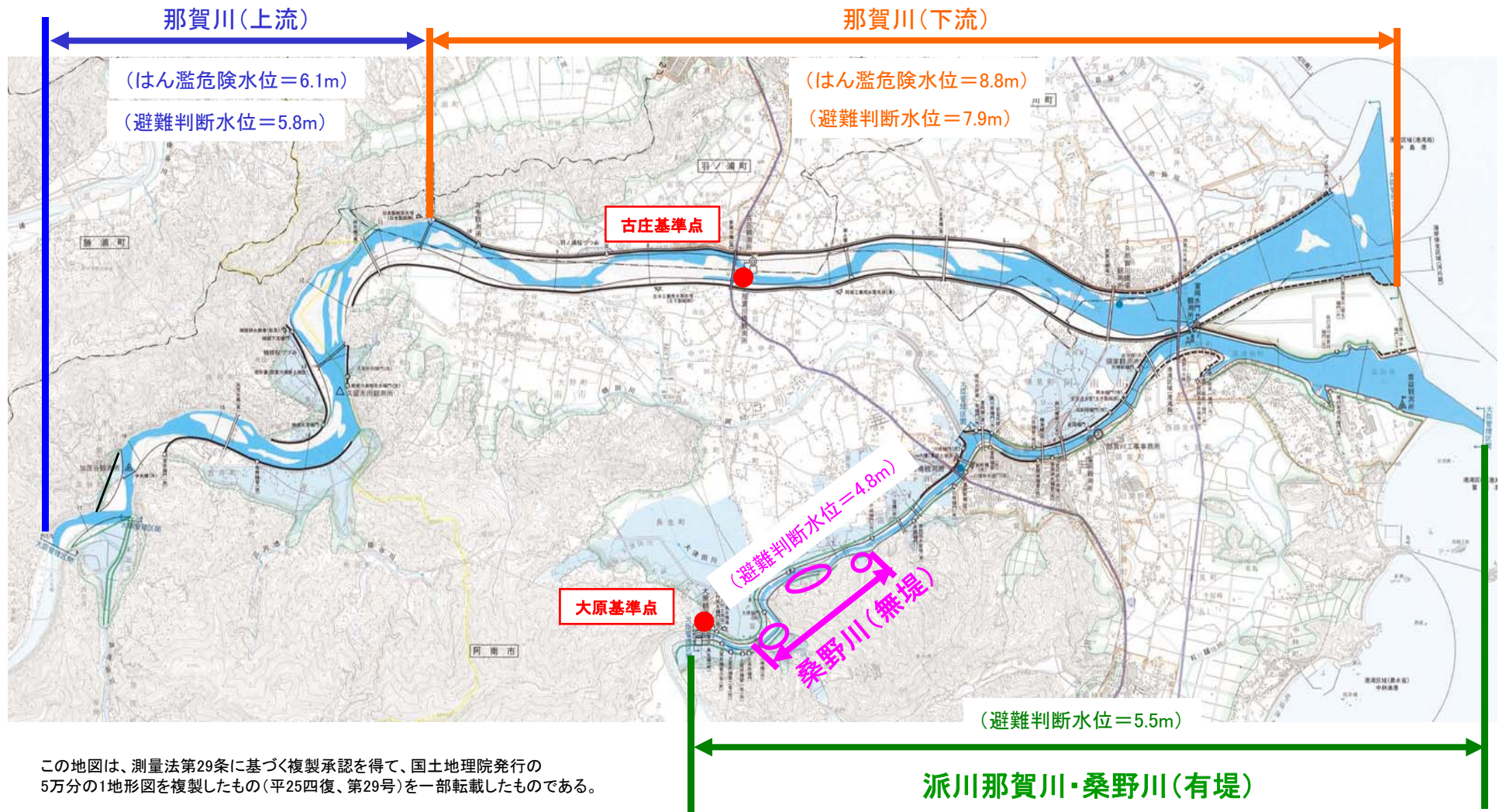
内線 (205)

◎調査課長

しみず あつし  
清水 敦司

内線 (351)

# 那賀川・桑野川直轄管理区間における「はん濫危険水位・避難判断水位」〈平面図〉



この地図は、測量法第29条に基づく複製承認を得て、国土地理院発行の5万分の1地形図を複製したもの(平25四復、第29号)を一部転載したものである。

はん濫危険水位・避難判断水位における変更前後の比較

◆変更前

河川名	基準地点	水防団待機水位・	はん濫注意水位・	避難判断水位・	はん濫危険水位・	計画高水位・
那賀川	古庄	3.50m	5.00m	6.50m(上流)・	6.50m(上流)・	8.823m
				7.90m(下流)・	8.80m(下流)・	
派川那賀川・ 桑野川	大原	3.40m	4.15m	5.40m	-	6.275m
					-	



◆変更後

河川名	基準地点	水防団待機水位・	はん濫注意水位・	避難判断水位・	はん濫危険水位・	計画高水位・
那賀川	古庄	3.50m	5.00m	<b>5.80m(上流)・</b>	<b>6.10m(上流)・</b>	8.823m
				7.90m(下流)・	8.80m(下流)・	
派川那賀川・ 桑野川	大原	3.40m	4.15m	<b>4.80m(無堤部)・</b>	-	6.275m
				<b>5.50m(有堤部)・</b>	-	



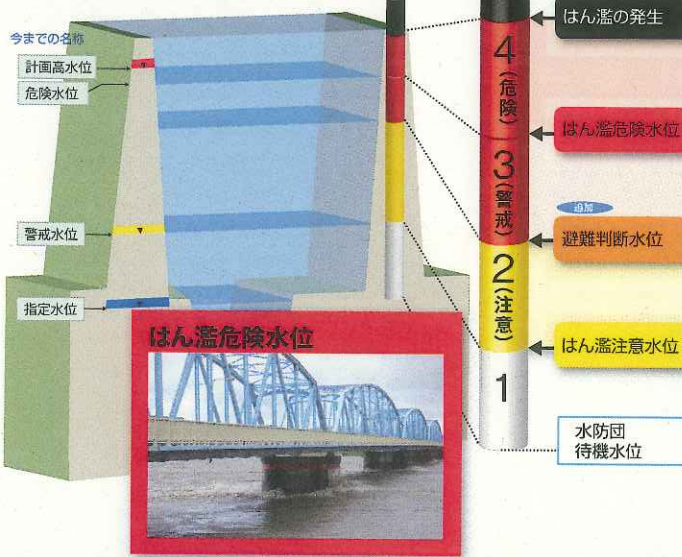
# 那賀川上流部 堤防の洪水情報をわかりやすく発表します。

市町や住民がとるべき避難行動等との関連が理解しやすいように洪水予報の標題と水位の名称を洪水危険に応じてレベル化しています。なお、那賀川は古庄が基準観測点となっています。



## 発表する防災情報と対応する水位

- 発表する水位名称を、受け手の取るべき行動や危険度レベルがわかるものに改善しました。(H19.4.19より)
- 新たに避難判断水位を設定し、防災情報発表に対応して水位を統一します。



那賀川河川事務所 徳島地方気象台

**那賀川はん濫発生情報**  
ホットラインによる情報提供

**那賀川はん濫危険情報**

**那賀川はん濫警戒情報**  
避難判断水位に達した場合、または一定時間後にははん濫危険水位に到達することが見込まれる場合

**那賀川はん濫注意情報**

水防警報 出動

水防警報 準備

水防警報 待機

## 市町・住民に求める行動

- 市・町**
- 逃げ遅れた住民の救援等
  - 新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導
- 市町は避難勧告等の発令を判断
- 市町は避難準備情報(要援護者避難情報)発令を判断
- 水防団出動

**避難を完了して下さい。**  
指定の避難場所、緊急時の携帯品を日頃から確認しておきましょう。

**避難を開始して下さい。**  
すばやい判断も、水害から生命や財産を守る重要なポイントです。

**はん濫に関する情報に注意して下さい。**  
緊急時はもちろん、日頃から気象情報や河川情報に関心を持ちましょう。

避難準備情報の発令

計画高水位 8.823m 河川の計画を立てる時の基本となる水位。川の堤防工事などの基準で、堤防が完成した後は、堤防が耐えられる最高の水位。

## 「水位名称」について那賀川橋をモデルに説明します。

平成19年4月19日から水位名称の変更となりました。





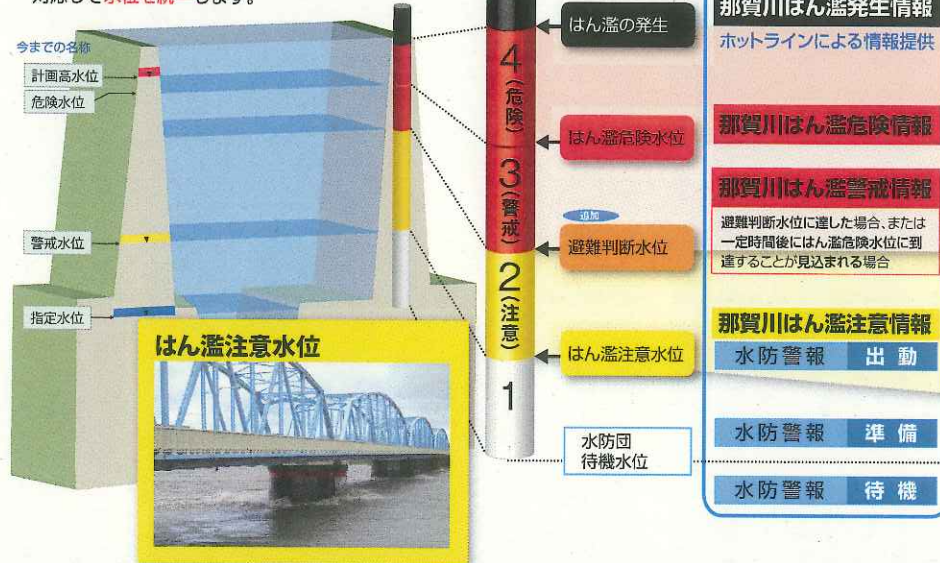
# 那賀川下流部の洪水情報をわかりやすく発表します。

市町や住民がとるべき避難行動等との関連が理解しやすいように洪水予報の標題と水位の名称を洪水危険に応じてレベル化しています。なお、那賀川は古庄が基準観測点となっています。



## 発表する防災情報と対応する水位

- 発表する水位名称を、受け手の取るべき行動や危険度レベルがわかるものに改善しました。(H19.4.19より)
- 新たに避難判断水位を設定し、防災情報発表に対応して水位を統一します。



## 市町・住民に求める行動

**市・町**

- 逃げ遅れた住民の救援等
- 新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導

**市町は避難勧告等の発令を判断**

**避難を完了して下さい。**  
指定の避難場所、緊急時の携帯品を日頃から確認しておきましょう。

**避難を開始して下さい。**  
すばい判断も、水害から生命や財産を守る重要なポイントです。

**はん濫に関する情報に注意して下さい。**  
緊急時はもちろん、日頃から気象情報や河川情報に関心を持ちましょう。

**市町は避難準備情報(要援護者避難情報)発令を判断**

**水防団出動**

計画高水位 8.823m 河川の計画を立てる時の基本となる水位。川の堤防工事などの基準で、堤防が完成した後は、堤防が倒壊される最高の水位。

## 「水位名称」について那賀川橋をモデルに説明します。

平成19年4月19日から水位名称の変更となりました。





# 桑野川・派川那賀川(無堤部)の洪水情報をわかりやすく発表します。

市や住民がとるべき避難行動等との関連が理解しやすいように、水位の名称を洪水危険に応じてレベル化しています。なお、大原が基準観測点となっています。



## 発表する防災情報と対応する水位

- 発表する水位名称を、受け手の取るべき行動や危険度レベルがわかるものに改善しました。(H19.4.19より)
- 新たに避難判断水位を設定し、防災情報発表に対応して水位を統一します。



計画高水位 6.275m  
河川の計画を立てる時の基本となる水位。川の堤防工事などの基準で、堤防が完成した後は、堤防が耐えられる最高の水位。

## 那賀川河川事務所

ホットラインによる情報提供

桑野川・派川那賀川  
はん濫警戒情報

避難判断水位に達した場合。

水防警報 出動

水防警報 準備

水防警報 待機

## 市・住民に求める行動

### 市

- 逃げ遅れた住民の救援等
- 新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導



- 市は避難勧告等の発令を判断

避難勧告等の発令

- 市は避難準備情報(要援護者避難情報)発令を判断
- 水防団出動

避難準備情報の発令

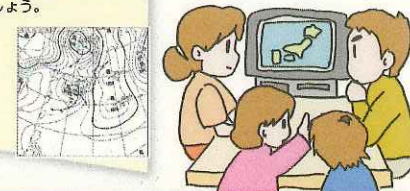


- 避難を開始して下さい。

すばやい判断も、水害から生命や財産を守る重要なポイントです。

- はん濫に関する情報に注意して下さい。

緊急時はもちろん、日頃から気象情報や河川情報に関心を持ちましょう。



## 「水位名称」について長生橋をモデルに説明します。

平成19年4月18日から水位名称が変更となりました。



### レベル1とは

水防団待機水位

(旧名称：指定水位)を越える状況です。



### レベル2とは

はん濫注意水位

(旧名称：警戒水位)を越える状況です。



### レベル3とは

避難判断水位

を越える状況です。

## 避難判断水位



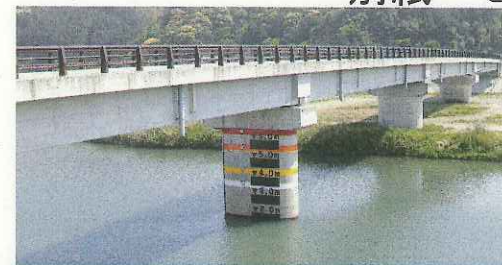
## 普通の桑野川(長生橋下流)





# 桑野川・派川那賀川(有堤部)の洪水情報をわかりやすく発表します。

市や住民がとるべき避難行動等との関連が理解しやすいように、水位の名称を洪水危険に応じてレベル化しています。なお、大原が基準観測点となっています。



## 発表する防災情報と対応する水位

## 市・住民に求める行動

- 発表する水位名称を、受け手の取るべき行動や危険度レベルがわかるものに改善しました。(H19.4.19より)
- 新たに避難判断水位を設定し、防災情報発表に対応して水位を統一します。



**市**

- 逃げ遅れた住民の救援等
- 新たにはん濇が及ぶ区域の住民の避難誘導

●市は避難勧告等の発令を判断

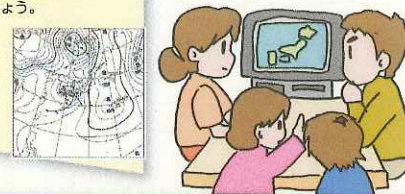
●市は避難準備情報(要援護者避難情報)発令を判断

●水防団出動



●避難を開始して下さい。すばやい判断も、水害から生命や財産を守る重要なポイントです。

●はん濇に関する情報に注意して下さい。緊急時はもちろん、日頃から気象情報や河川情報に関心を持ちましょう。



## 「水位名称」について長生橋をモデルに説明します。

※H19年4月19日からは水位名称が変更となりました。



## 用語説明

◇計画高水位

堤防等を作る際に洪水に耐えられる水位として指定する最高の水位

◇はん濫危険水位

洪水により相当の家屋浸水等の被害を生ずるはん濫の起こる恐れがある水位

◇避難判断水位

住民に対しはん濫発生の危険性について注意喚起を開始する水位

◇はん濫注意水位

出水時に災害が起こる恐れがある水位

◇水防団待機水位

水防団が待機する水位

◇有堤部

堤防が整備されている地区

◇無堤部

堤防が整備されていない地区のことで、洪水時の河川水位と比べて地盤高が低く河川の水があふれてはん濫が生じる地区

◇上流

北岸堰～十八女大橋直下流付近

◇下流

北岸堰～那賀川河口付近